

# モンゴルと私

中国を中心に東アジアの政治と国際関係を研究する私にとって、モンゴルは欠くことのできない地域になっている。

そのようなモンゴルは、私個人にとっても思い出深い。そのようなモンゴルは、

政治と国際関係を研究する私にとって、モンゴルは欠くことのできない地域になっている。

そのようなモンゴルは、私個人にとっても思い出深い。そのようなモンゴルは、

## 研究に欠かせぬ国

### 同時代史の変化を目撃して

顧問 中嶋 嶺雄



い国であり、昨夏の秋田県「モンゴル友好の旅」に参加する以前にも、すでに何回かモンゴルを訪問している。

最初のモンゴル訪問は一九七五年の一月であった。訪問の目的は「中ソ対立と現代戦後アジアの再考察」と題する私の博士學位論文のためのフィールド調査であり、モスクワ・ウランバートル・北京を約三週間かけて単身旅行した。当時の厳しい中ソ関係を現場で体験したいというのが目的であったが、ではこれら三カ国訪問の目的は、

「文明の生態史観」で知られる梅棹忠夫先生が同会議名誉会員に推挙され、失明されていたのにカラコルムまで遠路を車で訪問された。大学でのモンゴル語専攻から大学院でのトルコ語圏研究に転じていた私の長女は、梅棹先生に偶然途中で出会ったと感激していた。

四回目の訪問は、三年前、秋田に新設された国際教養大学がモンゴル人文大学と交流協定を結ぶためであり、日程の都合で一日しか滞在できなかったが、その成果としてモンゴルから優秀な留学生を受け入れることができるようになった。現在は東大時代からの知友であるT・S・ガントツグ学長のモンゴル国立大学からも留学生が来ている。

こうして昨夏の五回目のモンゴル行きとなったのであるが、雄大な草原で今は偉大な民族英雄として復権しているチンギスハーンを思い、モンゴル建国八百年祭の一端に寺田典城知事をはじめ秋田県の皆さんと一緒に参加することができて、本当に良かったと思っ

当時はゴビ砂漠一帯にソ連軍が展開していて、ようやく一日半かけて中国との国境駅ザミンウデまで来たというのに、外国人客は私人なので「敵地に行くのか」とばかり国境ではモンゴル側の検問が厳しく、なかなか出境させてくれない。博士論文の草稿を携行していたので没収されはしないかとひやひやしたのだが、論文を逆さに見ていたので一安心、数時間後に列車は中国側の二連(アルルエシ)に着き、

ほっとしたことを覚えていた。そこからさらに一日半かけて北京に着いたのであった。

二度目のモンゴル訪問は一九八二年夏であり、このときはナホトカで開かれたパシフィック・セミナーの帰途、イルクーツク経由でウランバートルへ行き、そこから北京までやはり国際列車で三日かけて到着した。このとき同行した家内は、帰国後に雑誌『正論』にモンゴル見聞記を連載したほどだから、まだモンゴルは遠い国だったのである。八月末だったのに、草原はすっかり秋の気配で、かなり寒かった。

三回目のモンゴルは一九九六年夏、ウランバートルで国際モンゴル学者会議が開かれたときであった。当時私は東京外国語大学学長で、わが国のモンゴル学関係「現代中国論」「国際関係論」など著書多数。

中嶋 嶺雄(なかにま・みねお) 協会顧問。国際教養大学理事長・学長。国際社会学者、社会学博士。前東京外国語大学学長。現在、内閣教育再生会議有識者委員。「現代中国論」「国際関係論」など著書多数。



上は伊藤医院を訪れた際のバヤンバーご夫妻。左端はバギーさん、下は秋田日赤病院で宮下院長を囲んで記念撮影。後ろは通訳として同行した留学生のオノンさん(左)とバギーさん

## 日本の医療に感心 父は医師、病院を視察

モンゴル国ウランバートル市スフバートル・ヘルスセンター長(五七歳)と夫人バギー氏(五四歳)が三月下旬末秋、四月七日までほぼ二週間滞在した。この間、佐藤紀常理事らが歓迎した。また職業上、医療施設を視察し、秋田赤十字病院と伊藤晴通副会長経営の生和堂医院へは国際教養大学

の留学生バヤンバー・バヤルカム(バギー)さんのご両親で、バギーさんの留学生生活の検分を兼ねて、医師である父のバ氏(母は高校教師)が日本の医学界の現状を知りたいと来日した。

池田謙吉事務局長らの案内で三月三十日、大仙市西仙北の生和堂医院を訪れた際には、個人医院の整った診療施設に感心する一方、医師の多忙さに驚いた様子だった。

また四月三日、杉沼廣常任理事同伴で秋田赤十字病院を視察の折は、宮下正弘院長(協会参与)が自ら院内を案内して説明したが、近代化された設備や充実した医療スタッフに「これまでアメリカやロシア、東南アジアの国々をいろいろ視察したが、日赤が最高」と語り、熱心にメモを取っていた。

## 日本は同民族

「民族はアフリカから、東へ東へと移動し、アジアに至った。一万年数十年前、そのころ居住していた人ウマンゾウを追って、氷河期移動し、水河期

ハは同民族

民族はアフリカから、東へ東へと移動し、アジアに至った。一万年数十年前、そのころ居住していた人ウマンゾウを追って、氷河期移動し、水河期

日本は同民族

民族はアフリカから、東へ東へと移動し、アジアに至った。一万年数十年前、そのころ居住していた人ウマンゾウを追って、氷河期移動し、水河期

## 編集室から

6号をお届けできてほっとしています。

昨年夏の『友好の旅』を終えて、なにか大きな山を越えたような感じが、張り詰めていた気持ちが、緩んでしまったように思えてなりません。

しかし、協会は今が大事です。結成して実質三年目。協会の基礎を固める時ですから、気合を入れ直してがんばります。

今月二十七日の総会には大勢の会員のご参加を期待しております。あなたもぜひご出席ください。(S)

### お得で快適な 高速バス

東京(新宿)

8時間30分

運賃(大人) 片道... 9,450円 往復... 16,000円

秋田

仙台

秋田

3時間50分

運賃(大人) 片道... 4,000円 往復... 7,200円

秋田・長崎屋発	
22:00	
新宿・ホテルセンチュリー発	
22:00	

秋田・長崎屋	
6:40発	11:40発
7:40発	15:40発
8:40発	17:00発
9:40発	17:40発
10:40発	18:20発

仙台・宮交高速案内所	
8:00発	15:20発
9:20発	16:20発
10:40発	17:30発
12:00発	18:15発
14:15発	19:00発

高速バス予約センター ☎018(823)4890

**秋田中央交通株式会社**

〒010-0931 秋田市川元山下町6番12号

管理部...TEL 018-823-4411 観光センター...TEL 018-823-4414 FAX 018-823-1565 (共通)

営業部...TEL 018-823-4413